



メモリーナビゲーション内蔵 DVD / Bluetooth® / 地上デジタルTV 10.1型HDモニター / CarPlay対応 AVシステム

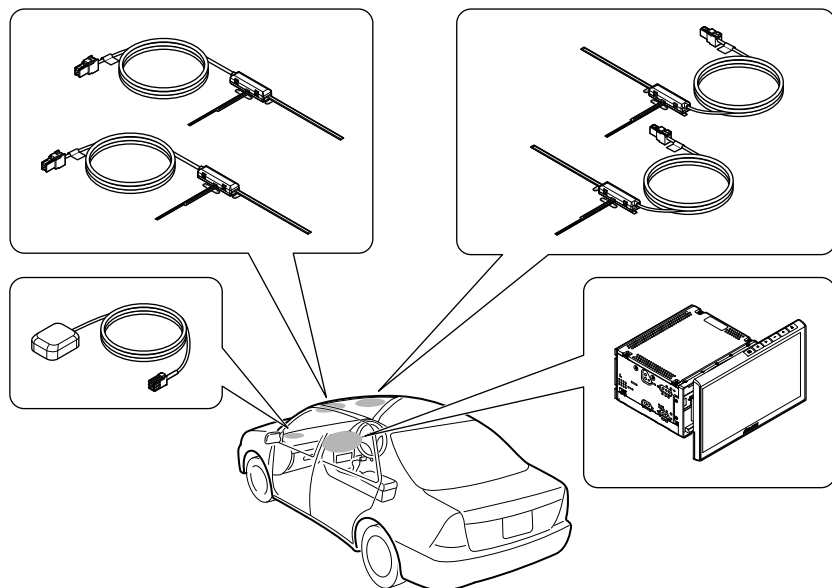
AVN-HS02F

DVD / Bluetooth® / 地上デジタルTV 10.1型HDモニター / CarPlay対応 AVシステム

DAV-DS01F

取付説明書

取付概要図



お買い上げいただき、ありがとうございます

本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。

—お客様へ—

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
- 安全運転のため、ご使用の前に「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」をお読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
- 仕様変更等により、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

—販売店様へ—

取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお渡しください。

目次

01 安全に正しくお使いいただくために.....	4
02 作業の進め方	9
03 構成部品.....	10
メインユニット関係	10
アンテナ関係.....	11
GPS アンテナ関係.....	11
資料関係.....	11
04 アンテナの取り付け上のご注意	12
GPS アンテナ・フィルムアンテナの取り付け上のご注意	12
GPS アンテナ・フィルムアンテナ取付概要図.....	14
05 GPS アンテナの貼り付け	15
06 フィルムアンテナの貼り付け	16
フィルムアンテナ各部の名称.....	16
フィルムアンテナの貼付方法.....	17
07 ハンズフリーマイクの貼り付け（例）.....	24
08 メインユニットの取り付け	25
メインユニットを車両に仮組し、スライドベースの位置を決める ..	25
メインユニットを車両に取り付ける	30
ディスプレイの位置と可動範囲.....	31
ディスプレイの上下位置と角度の調整方法.....	32
09 接続のしかた	34
ショートコネクタの使用法	36
リバーシ信号端子の接続方法（紫色）.....	37
パーキングブレーキ信号端子の接続方法（緑色）.....	37
車速パルス信号端子の接続方法（桃色）.....	37
10 システム接続例	38
システム接続例	38
システム接続例（HDMI 入力端子を使う）.....	39
システム接続例（HDMI 出力端子を使う）.....	39
システム接続例（Apple CarPlay を使う）.....	39
11 取り付け後の設定／作動確認	40

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。

表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および本機の故障や破損等の物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



しなければならないことを示しています。



してはいけないことを示しています。



注意をしなければならないことを示しています。

本機の取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

**アドバイス**

知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

❗ 本機は DC12V ⊖アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車等の 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。

❗ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子を外してください。

プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電やケガの原因となります。

⊙ 本機を次のような場所には取り付けないでください。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。

⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業をおこなってください。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。火災の原因となります。

❗ ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

破片等が目に入り、ケガや失明の原因となります。

⊙ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。

保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。

⊙ 本機を分解したり、改造したりしないでください。

事故や火災、感電の原因となります。

❗ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⊙ 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、事故や火災、感電の原因となります。

❗ 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。

そのまま使用すると、事故や火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

- ⊗ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業をおこなってください。
エアバッグの動作を妨げる場所に取り付け、配線をするとう誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しなかったりするため、ケガの原因となります。

- ⊗ 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。

カメラ装置等の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。

- ⊗ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災や感電の原因となります。

- ❶ 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁テープ等で絶縁してください。

ショートにより火災や感電の原因となります。

- ❶ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等にコードが巻き付くと事故の原因となり危険です。

- ❶ 必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。

- △ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

- ❶ 本書で指定された通りに接続してください。

指定された通りの接続をおこなわないと、事故や火災の原因となります。

⚠ 注意

❶ **本機の取り付け、配線には、専門技術と経験が必要です。**

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす恐れがあります。

❷ **雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。**

本機に水や湿気、埃、油煙が混入すると、発煙や発火、故障の原因となります。

❸ **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**

本機が外れて運転の妨げとなり、交通事故やケガの原因となります。

❹ **しっかりと確実に取り付けてください。**

走行中の脱落や破損等で、交通事故やケガの原因となります。

取り付け場所の水気や汚れ（ほこりや油等）は、取り除いてください。

取り付けの状態（接着やねじのゆるみ等）を、定期的に点検してください。

❺ **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ等へ取り付けしないでください。**

金属部分が高温になり、火傷をする恐れがあります。

また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

❻ **本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。**

通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

❼ **コードが金属部に触れないように配線してください。**

金属部に接触しコードが破損して、火災や感電の原因となります。

❽ **コードの配線は、高温部を避けておこなってください。**

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災や感電の原因となります。

❾ **コード類を決して途中で切断しないでください。**

コード類には、ヒューズ等が付いている場合があります、コード類を途中で切断すると保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。

❿ **電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**

機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合は、バッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠ 注意

△コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。

雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業をおこなってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となります。

○本機を車載用以外として使用しないでください。

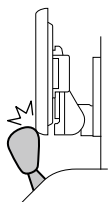
感電やケガの原因となります。

❶本機の取付場所の変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。

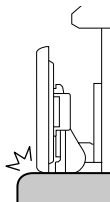
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

△本機を取り付けた際、ディスプレイが下記のような場合があります。スライドベースの位置やディスプレイの上下位置、ディスプレイの角度を、運転および車両装備品の操作に支障が出ないように調整してください。

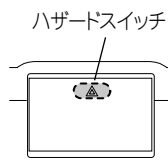
・シフトレバーに近い、もしくは当たっている



・車両部品に当たっている



・ハザードスイッチが隠れている



・レバーと当たっている



❶盗難防止システム等の保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。

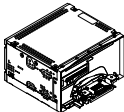
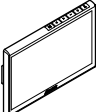
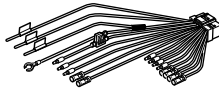
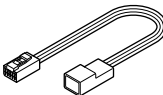
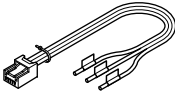
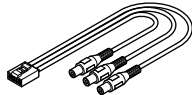
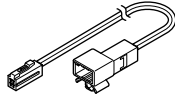
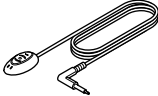
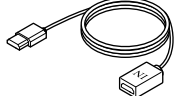
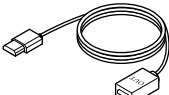
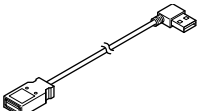
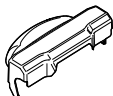
不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなったりする恐れがあります。

1. 構成部品を確認する
 - ☞ 「構成部品」 (→ P.10)
2. バッテリーのマイナス⊖端子を外す
3. 接続を確認する
 - ☞ 「接続のしかた」 (→ P.34)
 - ☞ 「システム接続例」 (→ P.38)
4. GPS アンテナを取り付ける
 - ☞ 「アンテナの取り付け上のご注意」 (→ P.12)
 - ☞ 「GPS アンテナの貼り付け」 (→ P.15)
5. フィルムアンテナを貼り付ける
 - ☞ 「アンテナの取り付け上のご注意」 (→ P.12)
 - ☞ 「フィルムアンテナの貼り付け」 (→ P.16)
6. コードを配線する
 - ☞ 「GPS アンテナの貼り付け」 (→ P.15)
 - ☞ 「フィルムアンテナの貼り付け」 (→ P.16)
7. ハンズフリーマイクを貼り付ける
 - ☞ 「ハンズフリーマイクの貼り付け (例)」 (→ P.24)
8. メインユニットを取り付ける
 - ☞ 「メインユニットの取り付け」 (→ P.25)
9. バッテリーのマイナス⊖端子を元に戻す
10. 設定および作動確認をする
 - ☞ 「取り付け後の設定／作動確認」 (→ P.40)

03 構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れやキズがないか確認してください。

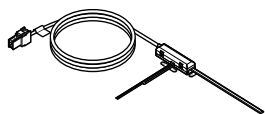
メインユニット関係

① 本体  × 1	② ディスプレイ  × 1	③ 電源コード  × 1
④ 中継コード  × 1	⑤ 車両信号コード  × 1	⑥ AUXコード  × 1
⑦ バックカメラコード  × 1	⑧ ハンズフリーマイク  × 1	⑨ 入力用HDMIコード(刻印: IN)  × 1
⑩ 出力用HDMIコード(刻印: OUT)  × 1	⑪ USBコード  × 1	⑫ 地図専用microSDカード AVN-HS02Fのみ  ※ × 1
⑬ B-CASカード  × 1	⑭ 目隠しカバー  × 1	⑮ HDMIコード固定セット   HDMI固定 ブラケット HDMI固定ブラケット 取付ねじ(M2.6×5) 各 × 1
⑯ 取り付けねじ(M5×6)  × 10	⑰ ショートコネクタ  × 6	⑱ 六角レンチ(対辺寸法: 2.5mm) (スライドベース調整用)  × 1

※ ⑫地図専用 microSD カードは、①本体にあらかじめ挿入されています。

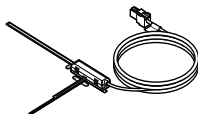
アンテナ関係

- ⑱ フィルムアンテナ(左側用)
(タグ: ①、②)
(コネクタ色: 黒)



× 2

- ⑳ フィルムアンテナ(右側用)
(タグ: ③、④)
(コネクタ色: 黒)



× 2

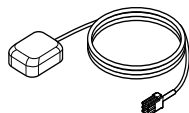
- ㉑ クランパー



× 8

GPS アンテナ関係

- ㉒ GPSアンテナ
(コネクタ色: 灰)



× 1

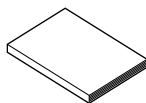
- ㉓ 金属シート



× 1

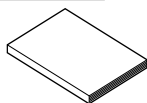
資料関係

- 取扱説明書(オーディオ編)



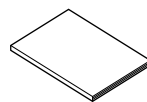
1 部

- 取扱説明書(ナビゲーション編)
AVN-HS02Fのみ



1 部

- 取付説明書(本書)



1 部

- 保証書



1 枚

GPS アンテナ・フィルムアンテナの取り付け上のご注意

GPS アンテナおよびフィルムアンテナの取り付け上のご注意を表記しています。
必ずよく読んでから作業をおこなってください。

⚠ 注意

- GPS アンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPS アンテナを取り外す場合、アンテナ端子部を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となります。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。貼付位置を確認して慎重に作業をおこなってください。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず本書の指示通りに取り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっています。折り曲げたり、キズをつけたりしないよう慎重に取り扱ってください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。詳しくはディーラーにご相談ください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷める恐れがあります。

アドバイス

- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPS アンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードから、できるだけ離して取り付けてください。GPS アンテナコードがラジオ放送の音声を妨害する恐れがあります。
- GPS アンテナおよびフィルムアンテナの貼付位置、貼付位置表面の汚れ、水分、油分等を十分拭き取ってから取り付けてください。
- GPS アンテナおよびフィルムアンテナを貼り付ける際、気温が低い（20℃以下）ときやガラスが曇ってしまうときは、粘着面の粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できなかったりする恐れがあります。
 - * 指定位置や寸法を守らずに貼り付けた場合
 - * フロントガラスに内蔵されているアンテナに重ねて貼り付けた場合
 - * 特殊なフロントガラスやフィルム（ミラータイプ、熱線反射タイプや熱線吸収タイプ等）を使用している場合
 - * 車内または車両周辺にテレビ受信の妨げとなるような電磁波を発する機器がある場合
- 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
 - * ワイパーやエアコンを動作させたとき
 - * 電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところ等、電波状況の悪い場所にいるとき
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

アンテナの取り付け上のご注意

GPS アンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

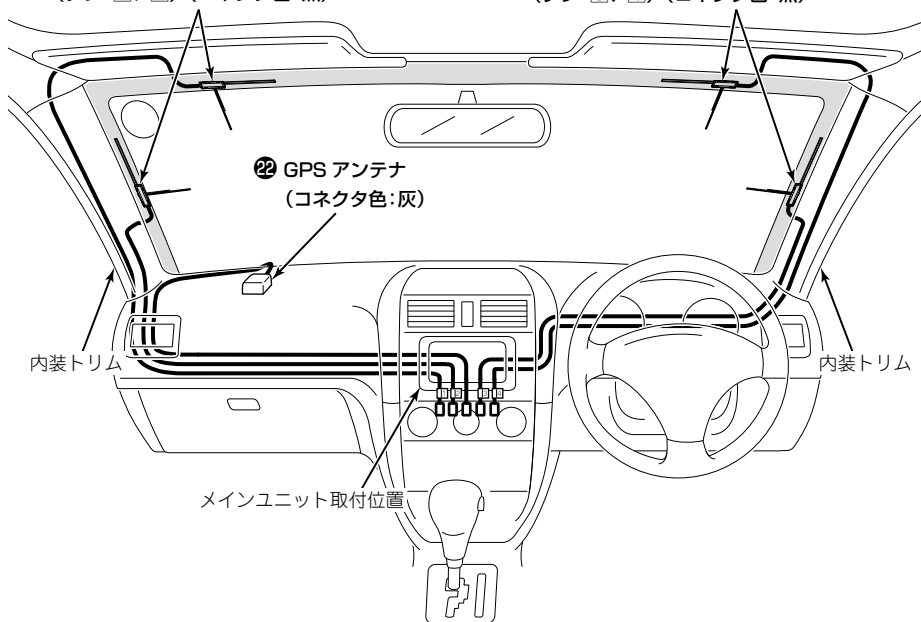
- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- 運転席側のコードは、運転操作の邪魔にならないように配線してください。
- ピラー配線時、内装トリムを取り外します（右側も同様）。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのカーディーラーにお問い合わせください（作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります）。

⑱ フィルムアンテナ（左側用）

（タグ：①、②）（コネクタ色：黒）

⑳ フィルムアンテナ（右側用）

（タグ：③、④）（コネクタ色：黒）



05 GPS アンテナの貼り付け

1 GPS アンテナの貼付位置を決める

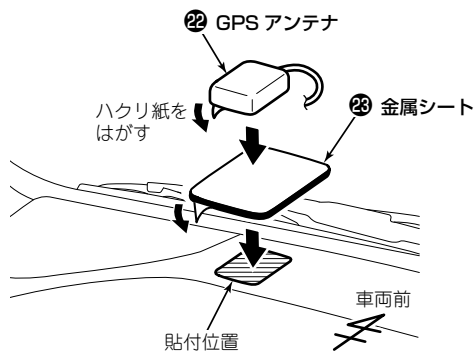


22 GPS アンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

アドバイス

- 22 GPS アンテナは、電波が遮られにくい、平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置は、助手席側ダッシュボードの広い場所です。

2 GPS アンテナと金属シートを貼り付ける



- ① 23 金属シートのハクリ紙をはがす。
- ② ダッシュボードに23 金属シートを貼り付ける。
- ③ 22 GPS アンテナのハクリ紙をはがす。
- ④ 23 金属シートに22 GPS アンテナを貼り付ける。

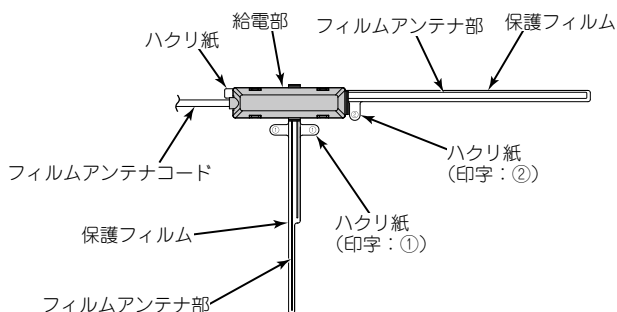
アドバイス

- 22 GPS アンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分拭き取ってください。

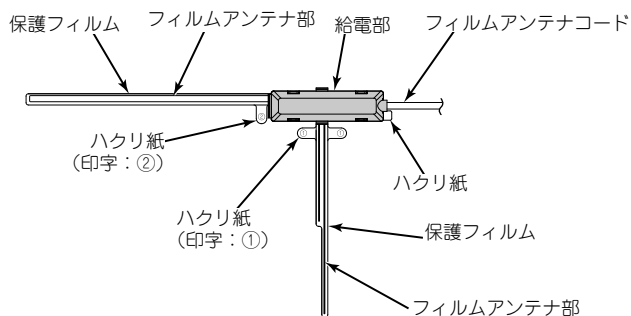
フィルムアンテナ各部の名称

- フィルムアンテナ部を折り曲げないように取り扱いには十分注意してください。
- フィルムアンテナ部を強く曲げる、強く引っ張る、ハクリ紙を急にはがす等しないでください。断線の原因となります。
- 必要であれば仮止めをおこなって作業をしてください。貼り直しはできません。
- 粘着面は触らないでください。粘着力低下を引き起こすだけでなく、断線の原因となります。

■ 19 フィルムアンテナ（左側用）



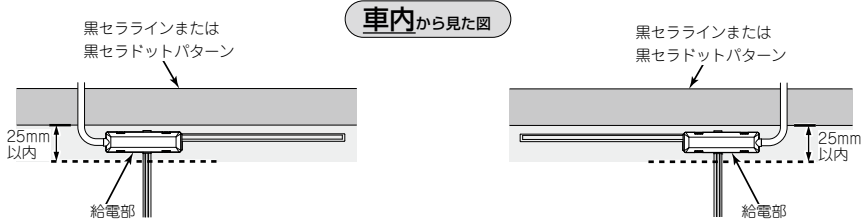
■ 20 フィルムアンテナ（右側用）



フィルムアンテナの貼付方法

⚠ 注意

- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部が黒セラライン^{※1}または黒セラドットパターン^{※2}から25 mm以内に収まるよう貼り付けてください。



- ⑬、⑭フィルムアンテナを黒セララインおよび黒セラドットパターンにかかって取り付けても問題ありませんが、黒セラドット部の貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時は、はがれないよう注意してください。
- ⑬、⑭フィルムアンテナは、検査標章や点検整備済ステッカーと重ならないように貼付位置を決めてください。

※1 黒セラライン：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色の部分。

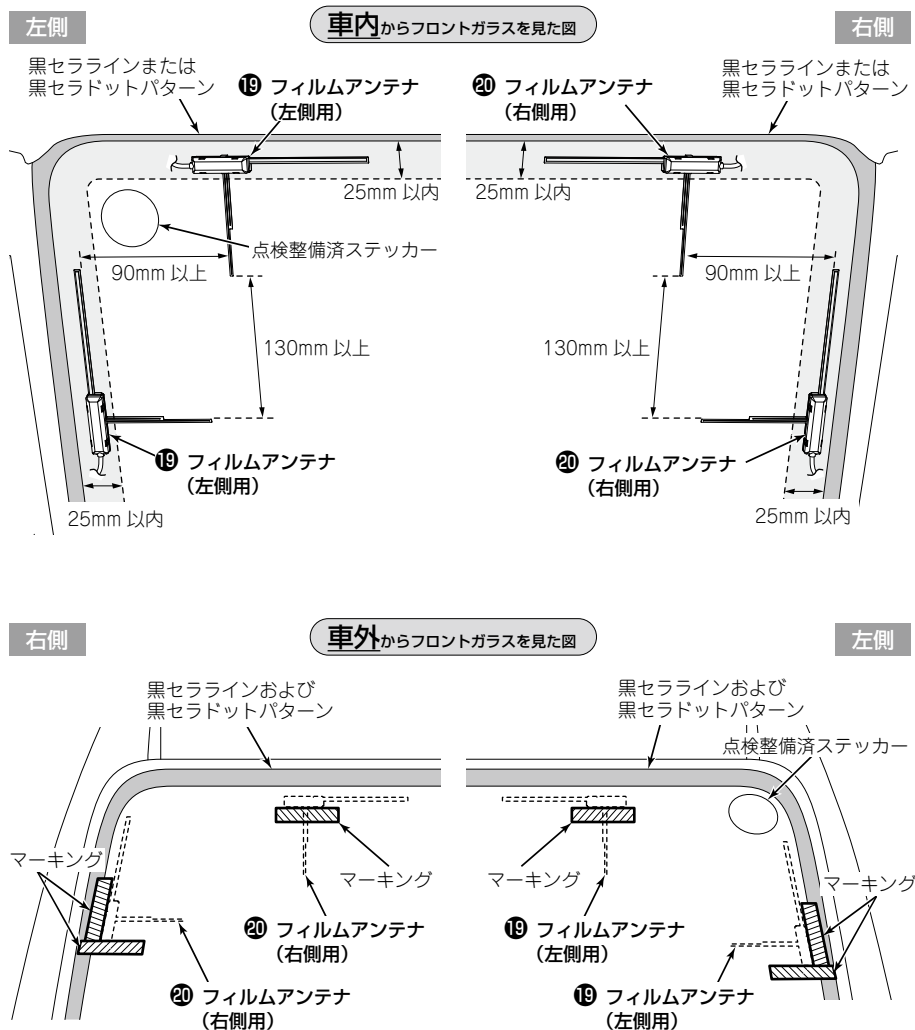
※2 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（網点）部分。

📎 アドバイス

- 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。
- テープはフロントガラスに跡が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。
- フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分をクリーナー等で十分拭き取ってください。

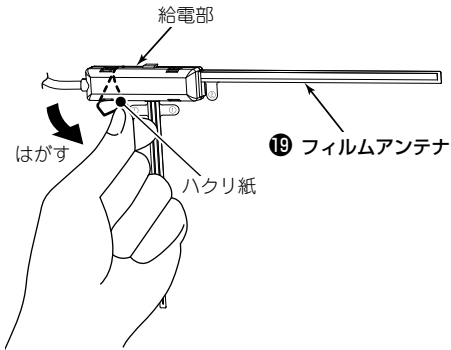
フィルムアンテナの貼り付け

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める



上図に従い、①⑨、②⑩フィルムアンテナの貼付位置4箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

2 フィルムアンテナの給電部のハクリ紙をはがす

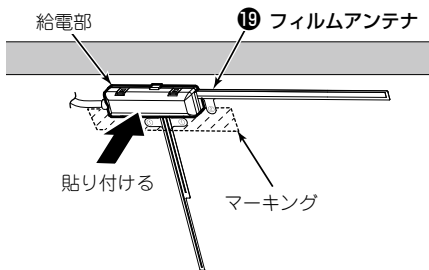


⑯フィルムアンテナの給電部のハクリ紙をはがす。

アドバイス

- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

3 フィルムアンテナの給電部をフロントガラスに貼り付ける



- ① 左図に従い、⑯フィルムアンテナの給電部の粘着面をフロントガラスのマーキングに合わせる。
- ② ⑯フィルムアンテナの給電部の粘着面をしっかりと押さえ、フロントガラスに貼り付ける。

注意

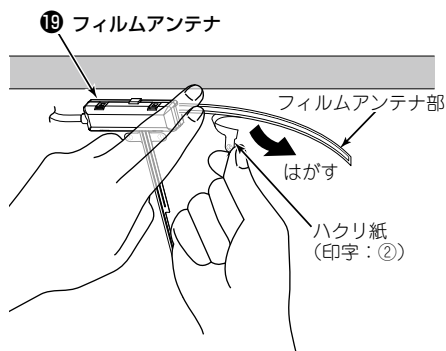
- 粘着力が低下するため、⑯フィルムアンテナの給電部は貼り直さないでください。
- 給電部を貼り付ける際、手が給電部の粘着面や、貼付位置にふれないように注意してください。

アドバイス

- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

フィルムアンテナの貼り付け

4 フィルムアンテナ部をフロントガラスに貼り付ける



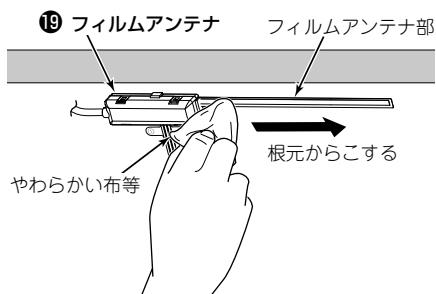
- ① ⑱フィルムアンテナのフィルムアンテナ部のハクリ紙（印字：②）をはがしながら、フィルムアンテナ部を根元から貼り付ける。

⚠ 注意

- フィルムアンテナ部は一度貼り付けると貼り直しできません。慎重に作業してください。

📌 アドバイス

- 左手でフィルムアンテナ部を押さえながら根元から貼り付けてください。
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。



- ② フィルムアンテナ部をやわらかい布等で根元からこすってガラス面に定着させる。

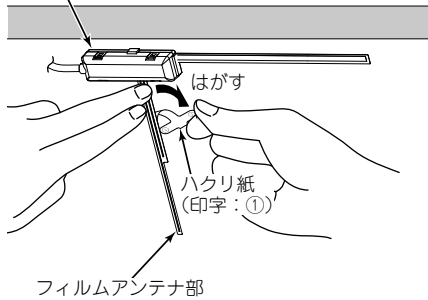
⚠ 注意

- フィルムアンテナ部をこする際は、ヘラ等固いものを使用しないでください。フィルムアンテナ部の破損の原因となります。
- フィルムアンテナ部を布等で押さえる際、シワやキズにつかないように注意してください。

📌 アドバイス

- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

⑬ フィルムアンテナ



- ③ ⑬フィルムアンテナのフィルムアンテナ部のハクリ紙（印字:①）をはがしながら、フィルムアンテナ部を根元から貼り付ける。

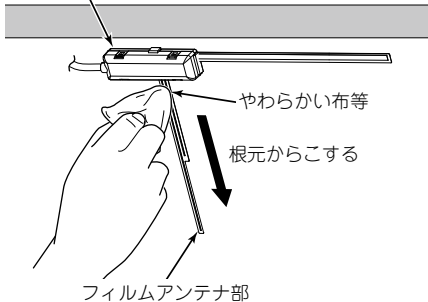
⚠ 注意

- フィルムアンテナ部は一度貼り付けると貼り直しできません。慎重に作業してください。

🔧 アドバイス

- 左手でフィルムアンテナ部を押さえながら根元から貼り付けてください。
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

⑭ フィルムアンテナ



- ④ フィルムアンテナ部をやわらかい布等で根元からこすってガラス面に定着させる。

⚠ 注意

- フィルムアンテナ部をこする際は、ヘラ等固いものを使用しないでください。フィルムアンテナ部の破損の原因となります。
- フィルムアンテナ部を布等で押さえる際、シワやキズがつかないように注意してください。

🔧 アドバイス

- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

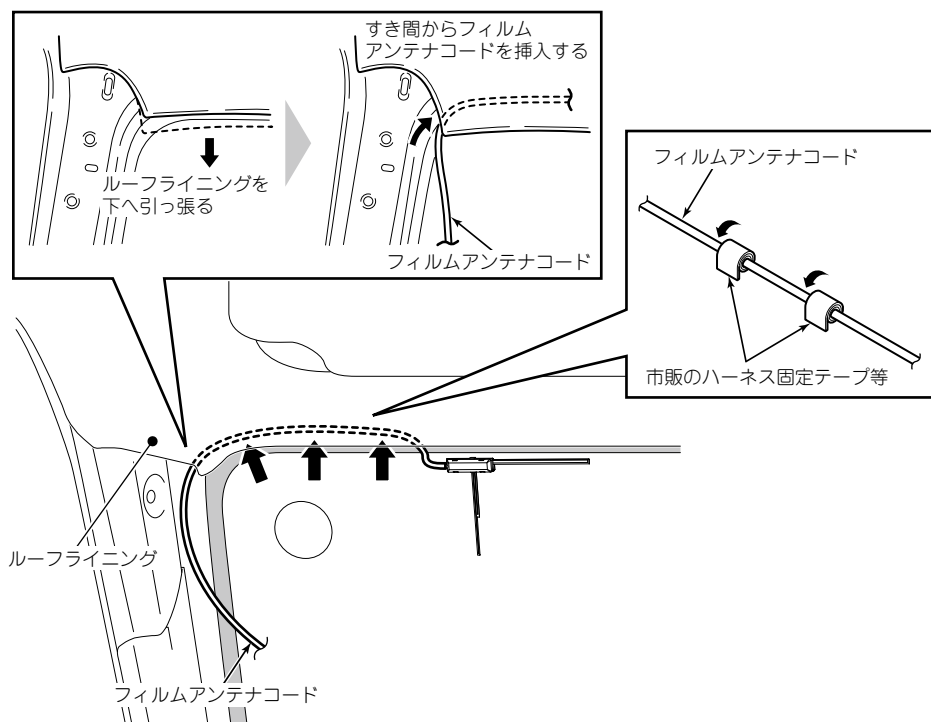
5 残りのフィルムアンテナを貼り付ける

手順2～4にしたがい、残りのフィルムアンテナを貼り付ける。

フィルムアンテナの貼り付け

6 GPS アンテナコードとフィルムアンテナコードを配線する

- ① フィルムアンテナコードをルーフライニング内に収める。



⚠ 注意

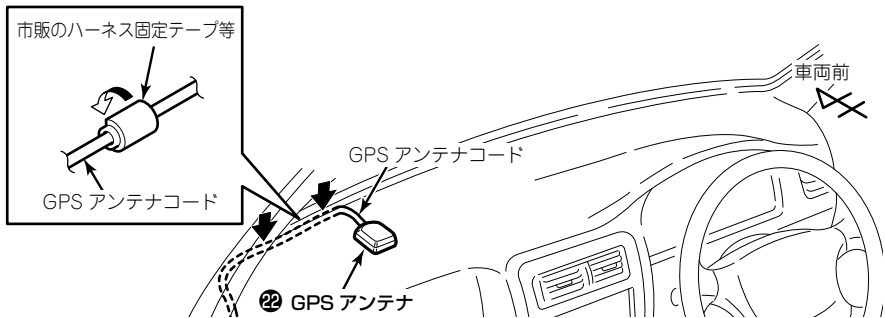
- ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。
- フィルムアンテナコードを強く引っ張ったり、負荷を掛けたり、かみ込んだりしないようにしてください。

🔧 アドバイス

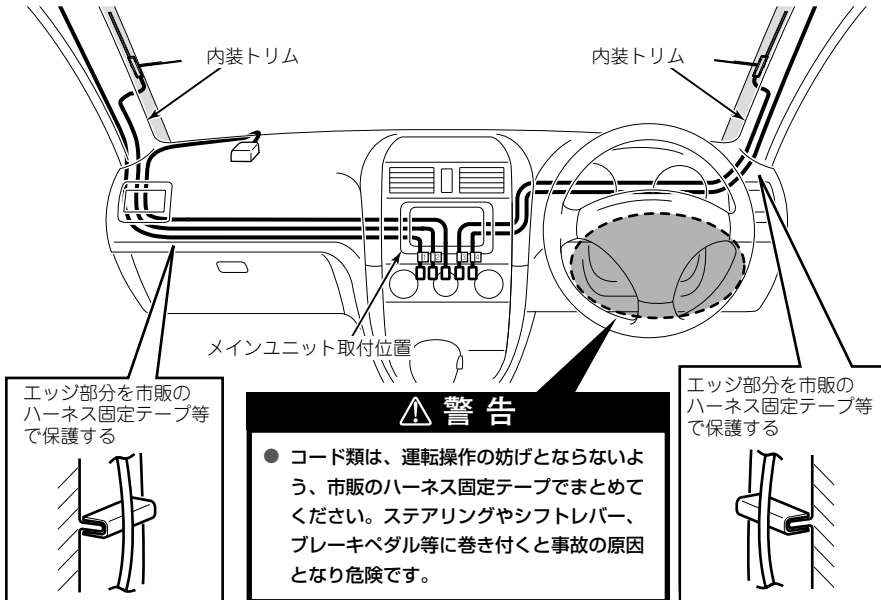
- ルーフライニング内を配線する際は、ルーフライニングを下へ引っ張ってできたすき間からフィルムアンテナコードを挿入してください。
- フィルムアンテナコードがルーフライニング内から出てくる場合は、市販のハーネス固定テープ等を巻き付けてルーフライニングから出ないように収めてください。
- 内装トリムにフィルムアンテナコードがかみ込む場合は、内装トリムを切り欠いてください。
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

フィルムアンテナの貼り付け

- ② GPS アンテナコードをダッシュボード奥にコードを押し込みながら配線する。



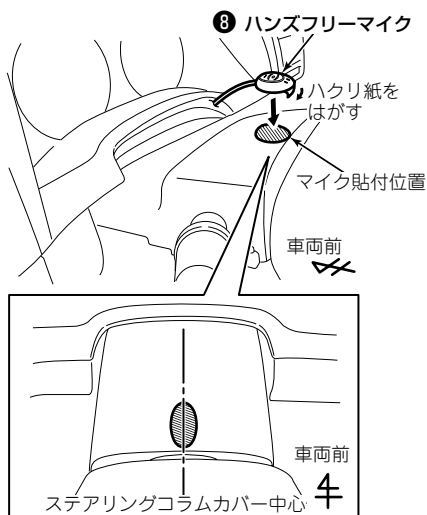
- ③ GPS アンテナコードおよびフィルムアンテナコードを④クランパーや市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。



- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に市販のハーネス固定テープ等を貼り付けてください。
- 内装トリムを復元した際、コードのかみ込みがないことを確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめる際、メインユニットから 30cm 以上離してください。
- コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクランプ、クランパー等の固定部材を使用して確実に固定してください。

07 ハンズフリーマイクの貼り付け（例）

1 ハンズフリーマイクを貼り付ける



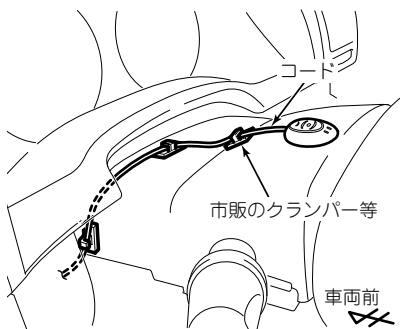
① ⑧ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。

② ステアリングコラムカバーの中心に
⑧ハンズフリーマイクを貼り付ける。

アドバイス

- ⑧ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ⑧ハンズフリーマイクは、チルト、テレスコピック時に車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。

2 コードを配線する



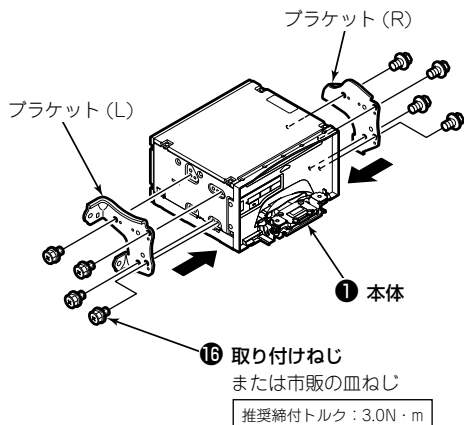
⑧ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

警告

- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

メインユニットを車両に仮組し、スライドベースの位置を決める

1 本体にブラケットを取り付ける



- ① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り外す。
- ② オーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外す。

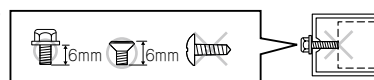
アドバイス

- オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用するブラケットは、車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店やカーディーラーにお問い合わせください。

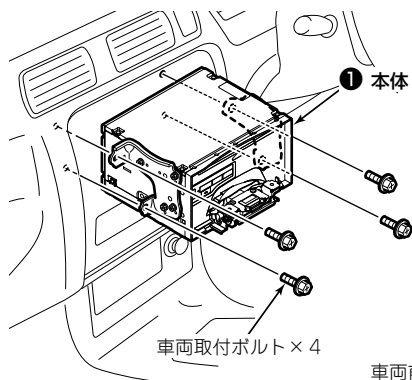
- ③ ①本体にブラケットを取り付ける。

アドバイス

- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。車種別の情報はイクリプス web サイト お客様サポート内の「ジャストフィットガイド」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/justfitguide/>) をご確認ください。
- ①本体にブラケットを取り付ける際、必ず指定のねじ (M5 × 6) を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。皿ねじが必要な場合は、市販の皿ねじ (M5 × 6) を準備して使用してください。



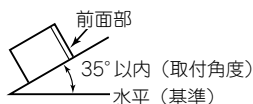
2 車両に本体を取り付ける



車両に①本体を取り付ける。

注意

- ①本体は水平に対して、35° 以内の角度で取り付けてください。35° 以上で取り付けたら、自車位置のズレやディスクの出し入れ等が正常に動かない恐れがあります。

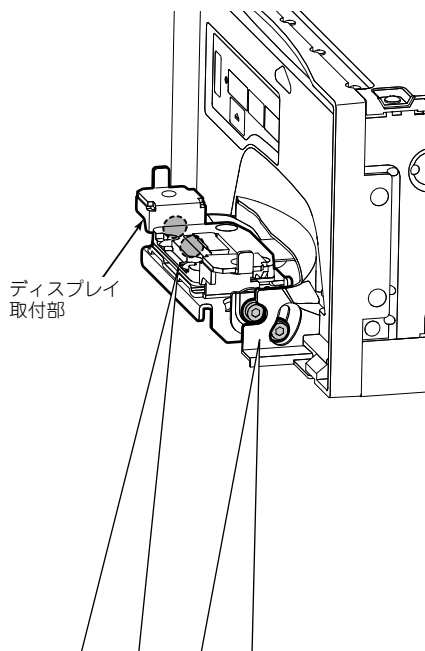


- ①本体を取り付ける際、車両部品にキズをつけないよう、やわらかい布や養生テープ等で車両部品を保護してください。

3 本体のディスプレイ取付部の角度を確認する

②ディスプレイの可動範囲を確保するためには、①本体のディスプレイ取付部の角度を地面に対して水平にする必要があります。

メインユニット取付位置が斜めの場合等、ディスプレイ取付部が水平ではない場合は、以下の手順に従ってディスプレイ取付部の角度を調整してください。



- ① ⑬六角レンチを使用して、ディスプレイ取付部のねじを緩める（4箇所）。

アドバイス

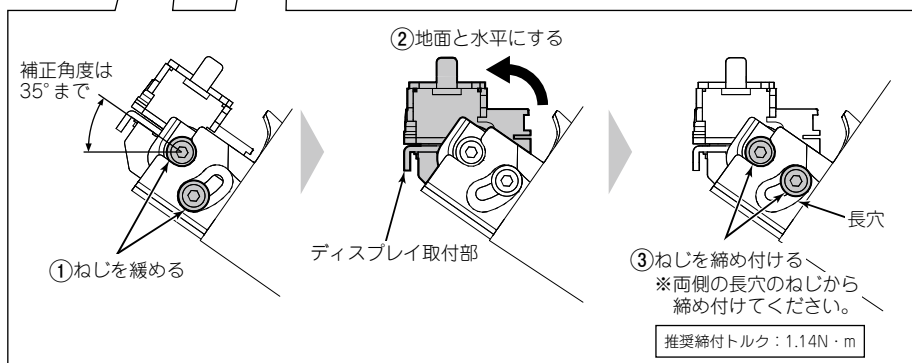
- ディスプレイ左右の角度（左右の向き）を調整する際は、ディスプレイが地面に対して垂直になるようにディスプレイ取付部の角度を調整してください。
- ディスプレイ取付部の角度調整は、車両に取り付けた状態でおこなってください。

- ② ディスプレイ取付部の取付角度を地面と水平にする。

- ③ ⑬六角レンチを使用してディスプレイ取付部のねじを締め付ける（4箇所）。

注意

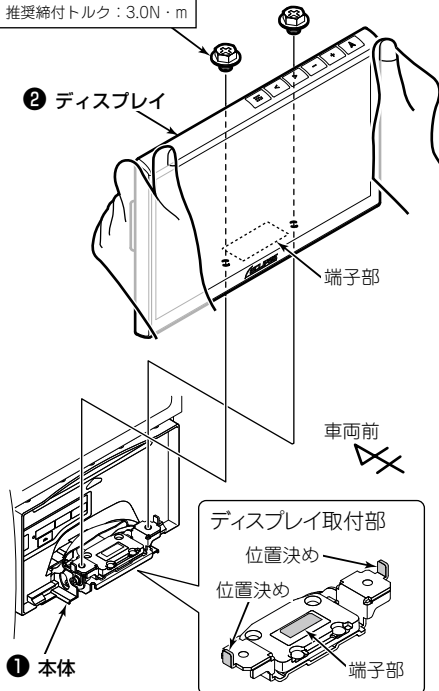
- ねじを締め付ける際は、両側の長穴のねじから締め付けてください。



4 本体にディスプレイを取り付ける

⑩ 取り付けねじ×2

推奨締付トルク：3.0N・m



- ① ②ディスプレイを①本体のディスプレイ取付部にしっかりとめ込む。

⚠ 注意

- ディスプレイ取付部の位置決めを②ディスプレイ側の位置決め穴に合わせてください。
- ②ディスプレイを取り付ける際、②ディスプレイは両手で持ち、落とさないよう慎重に作業してください。
- 端子部は触らないように注意してください。故障の原因となります。

- ② ⑩取り付けねじを締め付ける
(2箇所)。

🔧 アドバイス

- ⑩取り付けねじを締め付ける際、ねじが落ちないようにウエス等を敷いて作業をおこなってください。

5 メインユニット取付時のディスプレイの位置を確認する

⚠ 注意

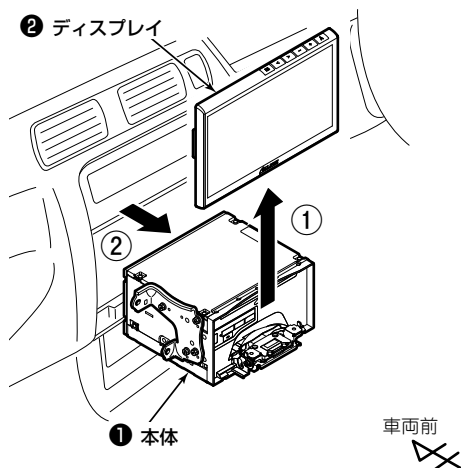
- ②ディスプレイの位置について下記を必ず確認してください。
 - ②ディスプレイが視界や運転の妨げにならないこと
 - ディスクまたはメディアを取り出す際の②ディスプレイの可動動作に支障がないこと
 - ②ディスプレイが車両部品やレバー等に干渉していないこと
 - 運転席側から見て、ハザードスイッチが②ディスプレイに隠れていないこと

🔧 アドバイス

- 取り付ける車両によっては、グローブボックスやカップホルダーが使用できなくなったり、エアコン送風口が隠れたりする場合があります。

メインユニットの取り付け

6 仮組みしたメインユニットを車両から取り外す



① ①本体から②ディスプレイを取り外す。

② 車両から①本体を取り外す。

アドバイス

- スライドベースの位置の調整が必要な場合は手順 7 へ進み、スライドベースの位置を調整してください。
- スライドベースの位置の調整が不要な場合は、「メインユニットを車両に取り付ける」(→ P.30) へ進み、メインユニットを車両に取り付けてください。

7 スライドベースの位置を調整する

注意

- スライドベースの前後位置と左右位置の調整を同時にする場合、先に前後位置の調整をおこなってください。左右位置の調整をおこなってから前後位置の調整をおこなうことはできません。
- スライドベースの前後左右位置を変える際、①本体の下にはやわらかい布等を敷き、①本体にキズがつかないように注意して作業してください。
- スライドベースの前後左右位置を変える際、両手で慎重に作業をおこなってください。片手でおこなうと過度な力が掛かり、ケガをする恐れがあります。

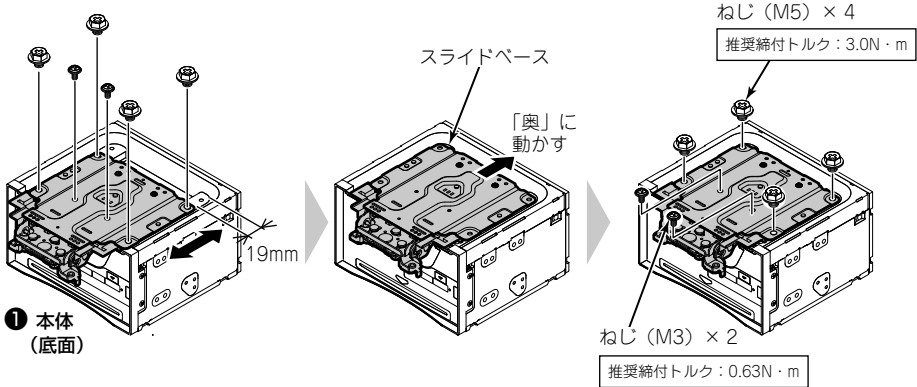
アドバイス

- スライドベースの位置を決めることにより、②ディスプレイの前後左右位置が決まります。
- スライドベースの位置決めについては以下もご確認ください。
 - ・ イクリプス web サイトお客様サポート内の「ジャストフィットガイド」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/justfitguide/>)
 - ・ 本書内の「ディスプレイの位置と可動範囲」(→ P.31)
- 取り外したねじが①本体の内部へ入らないようにしてください。故障やショート、火災の原因となります。

■ 前後位置の調整方法（移動幅：前後 19mm）

スライドベースの位置を「手前」と「奥」の2段階で調整することができます。
購入時は「手前」に固定されています。

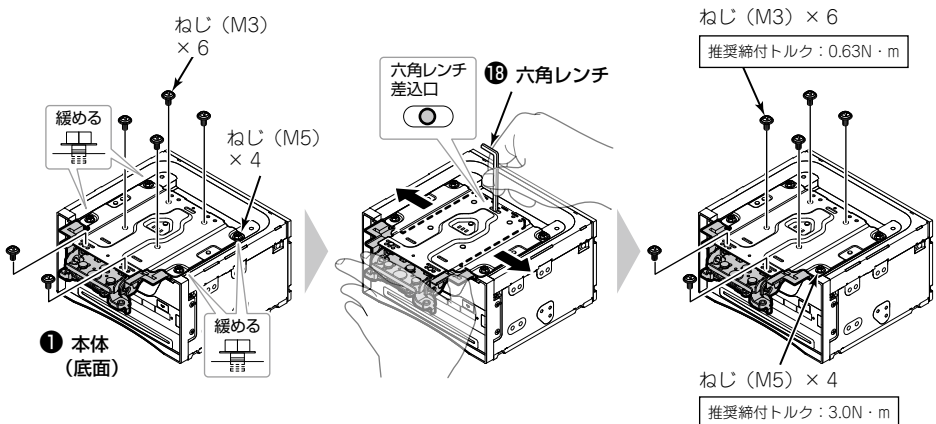
- ① ねじを取り外す（6箇所）。
- ② スライドベースを「奥」に動かし、
- ③ ねじをしっかりと締め付ける（6箇所）。



■ 左右位置の調整方法（移動幅：左右各 5mm）

スライドベースの位置を「左」、「真ん中」、「右」の3段階で調整することができます。
購入時は「真ん中」に固定されています。

- ① M3のねじを6箇所取り外し、M5のねじを4箇所緩める。
- ② スライドベースを左右に動かし、
- ③ ねじをしっかりと締め付ける（10箇所）。

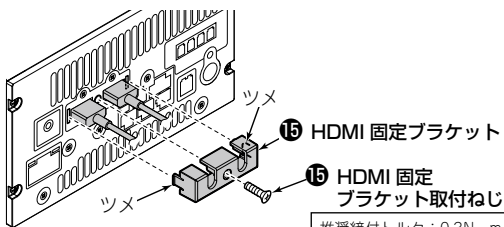


メインユニットを車両に取り付ける

1 本体に各コードを接続する

⚠ 注意

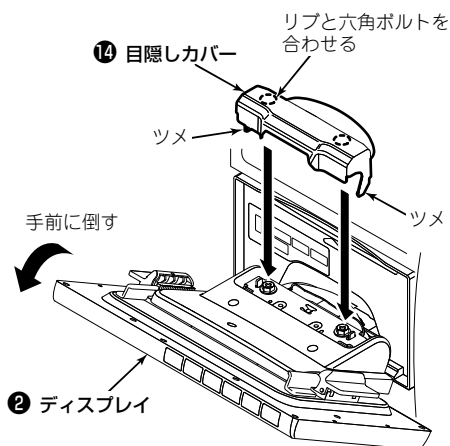
- ⑨、⑩ HDMI コード（付属）を接続する際、「IN」と「OUT」を間違えないよう注意して接続してください。
- ⑨、⑩ HDMI コード（付属）を接続する場合は、⑮ HDMI 固定ブラケット（付属）を使用して、⑨、⑩ HDMI コードを固定してください。⑮ HDMI 固定ブラケットを外す場合は、⑮ HDMI 固定ブラケット取付ねじを外してからツメ部を左右に浮かせてください。



2 車両にメインユニットを取り付ける

- ① 車両に①本体を取り付ける。
- ② ①本体に②ディスプレイを取り付ける。

3 目隠しカバーを取り付ける



- ① ②ディスプレイを手前に倒し、⑭目隠しカバーを取り付ける。

📌 アドバイス

- ⑭目隠しカバーを取り付ける際、②ディスプレイを手前に倒すと取り付けやすくなります。上下の角度の調整方法は（→ P.33）を参照してください。
- ⑭目隠しカバーを外す場合は、ツメ部を左右に少し浮かせながら外してください。

- ② 車両部品を元に戻し、②ディスプレイを起こす。

📌 アドバイス

- 運転操作や視界の妨げになっていないか、車両部品と干渉していないか確認してください。

ディスプレイの位置と可動範囲

ディスプレイの 上下位置		上端	上端	下端	下端
本体の取付角度		0°	35°	0°	35°
スライドベースの位置…奥	ディスプレイを 奥に倒した 状態				
	ディスプレイを 手前に倒した 状態				
スライドベースの位置…手前	ディスプレイを 奥に倒した 状態				
	ディスプレイを 手前に倒した 状態				

(単位：mm)

⚠ 注意

- 表の寸法および可動範囲は目安です。
- 取り付ける車種によっては制約がある場合があります。

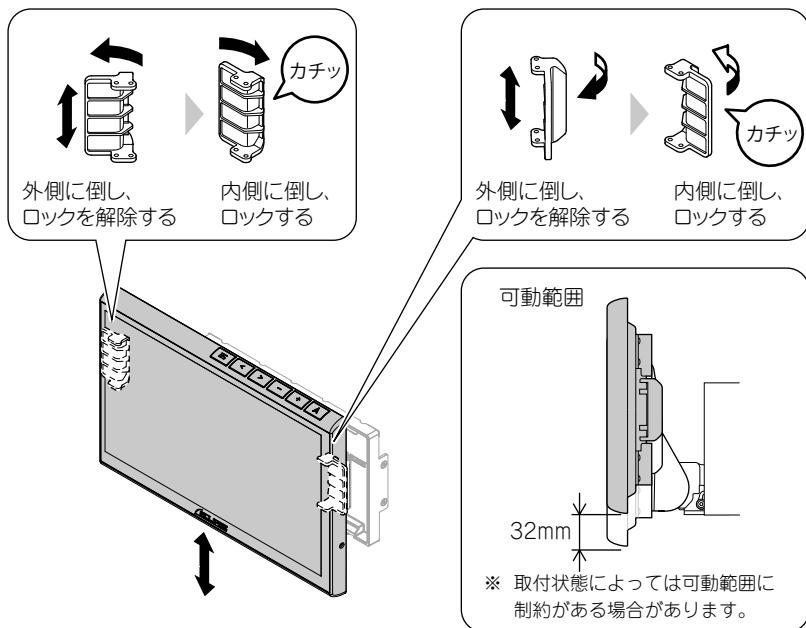
ディスプレイの上下位置と角度の調整方法

⚠ 注意

- ディスプレイの上下位置や角度を調整する場合は、車両が停車している状態で作業をおこなってください。

■ 上下位置（高さ）を調整する

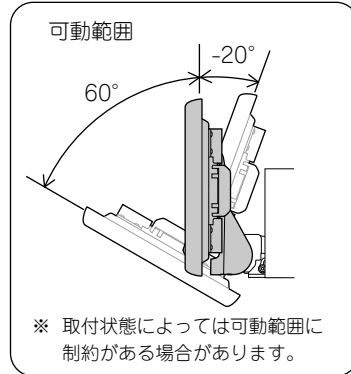
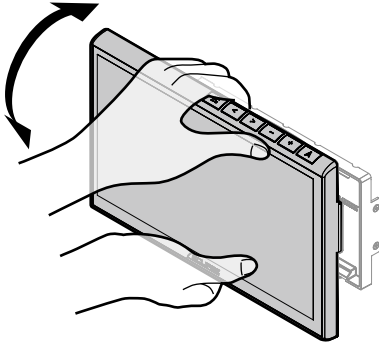
ディスプレイを起し、手でディスプレイの上下位置を調整します



- 無理に動かさずに、必ず左右のロックを解除してから調整してください。
- ロックの固定は「カチッ」と音がするまで確実におこなってください。
- ロックを固定する前に手を放すと、重みでディスプレイが下がってしまいます。
ディスプレイを手で持ったまま、左右をロックしてください。

■ 上下の角度（上下の向き）を調整する

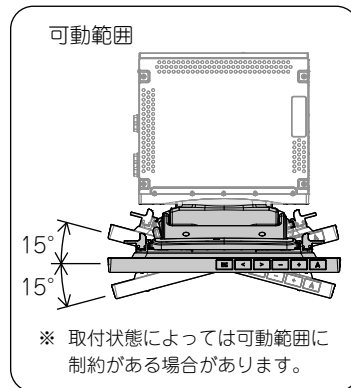
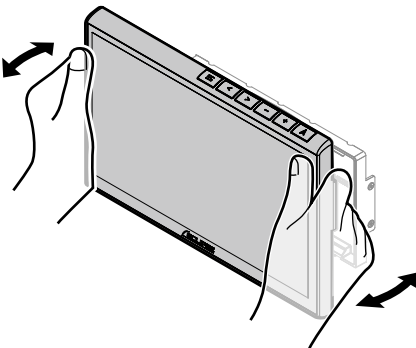
ディスプレイ中央部の上側と下側をしっかりと持ち、手で角度を調整します



- ディスプレイを動かす際は、過剰な力を加えないようゆっくりと動かしてください。
- 電源が入っているときは、できるだけ操作部（タッチパネル、ボタン）に触れないでください。
- 指をはさまないように気をつけてください。

■ 左右の角度（左右の向き）を調整する

ディスプレイの両端をしっかりと持ち、手で角度を調整します



- ディスプレイを動かす際は、過剰な力を加えないようゆっくりと動かしてください。
- 電源が入っているときは、できるだけ操作部（タッチパネル、ボタン）に触れないでください。
- 指をはさまないように気をつけてください。

09 接続のしかた

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線をおこなってから
メインユニットに接続してください。

HDMI入力端子(刻印:IN)

HDMI出力のある外部機器を接続

HDMI出力端子(刻印:OUT)

HDMI入力のある外部機器を接続

● 詳細な接続方法は、「システム接続例 (HDMI 入力端子を使う) および (HDMI 出力端子を使う)」(→ P.39) を参照してください。

⑨ 入力用 HDMI コード

⑩ 出力用 HDMI コード

⑪ HDMI 固定ブラケットで固定してください。

⑧ ハンズフリーマイク

③ 電源コード(16P)

バッテリー電源端子(黄色)

車両のキー位置に関係なく常時電源が加わっているところに接続

ACC電源端子(赤色)

車両のキー位置をLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わるところに接続

※2 照明用電源端子(橙色)

車両のライトスイッチをONにしたときに、電源が加わるところに接続

※1 オートアンテナ用電源端子(青色)

<ラジオアンテナ>

- ガラスアンテナの場合：車側のアンテナアンプ電源端子に接続
- オートアンテナの場合：車側のオートアンテナのコントロール端子に接続
- ショートボールアンテナでアンテナアンプ装着車の場合(ルーフアンテナ、マイクロアンテナ等)：車側のアンテナアンプ電源端子に接続

パワーコントロール端子(青/白色)

外部アンプ等のコントロール電源端子と接続

アースコード(黒色)

アースが確実に取れる車両のボディに接続

ステアリングスイッチアース端子(黒色)

車両のステアリングスイッチのアースコード (GND) に接続

ステアリングスイッチ信号端子(白/青色)

車両のステアリングスイッチの信号コード (SW1) に接続

ステアリングスイッチ信号端子(茶色)

車両のステアリングスイッチの信号コード (SW2) に接続

フロントスピーカ出力端子

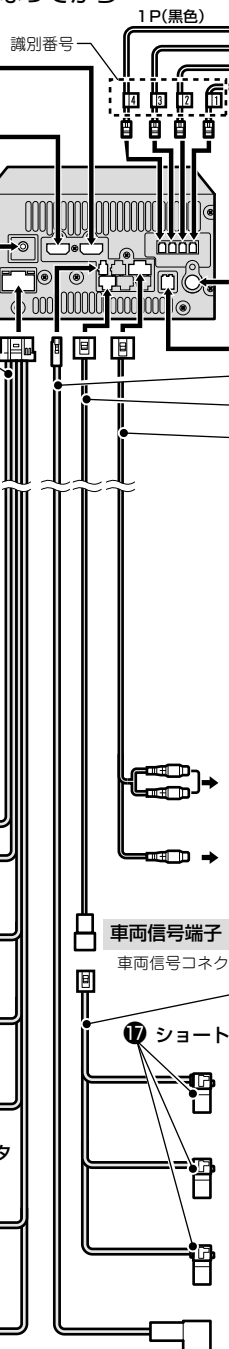
フロントスピーカに接続

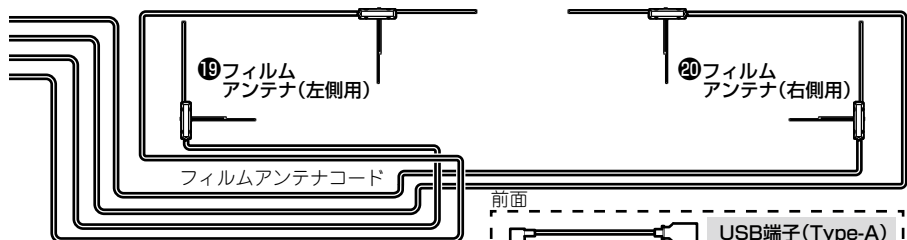
白色：左+ 白/黒色：左-
灰色：右+ 灰/黒色：右-

リアスピーカ出力端子

リアスピーカに接続

緑色：左+ 緑/黒色：左-
紫色：右+ 紫/黒色：右-





● 車両ラジオアンテナ

● 22 GPS アンテナ(1P: 灰色)

● 7 バックカメラコード(4P)

● 4 中継コード(10P)

● 6 AUX コード(14P)

※1 オートアンテナ車の場合、本機は緊急放送受信機能(※1)を持っているためラジオ以外のソースを使用している場合でもアンテナは下がりません。アンテナを下げる場合は、ACC OFFにしてください。

※1: FM多重放送の緊急放送を受信したとき、自動的に緊急情報に番組が切り替わる機能です。

※2 レオスタット(照度調整スイッチ)装着車の場合、照度調整により照明用電源の電圧が変動する場所にメインユニットの照明用電源を接続しないでください。接続するとライトのON/OFFにより「昼間表示」と「夜間表示」に切り替わらない場合があります。必ずスモールライト等照明用電源の電圧が変動しない場所に接続してください。

※3 抵抗入りの接続コードを使用しないでください。音声にノイズが発生する恐れがあります。

AUX入力端子 ※3

音声出力のある外部機器と接続

(白色: 左音声入力 赤色: 右音声入力)

映像出力端子(黄色)

後席用モニター等と接続

(5P)

または、変換ハーネスに接続

● 5 車両信号コード(5P)

コネクタ

リバース信号端子(紫色)

車両のリバース信号に接続

(リバース信号端子の接続方法へ)(→ P.37)

パーキングブレーキ信号端子(緑色)

車両のパーキングブレーキ信号に接続

(パーキングブレーキ信号端子の接続方法へ)(→ P.37)

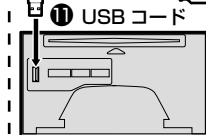
車速パルス信号端子(桃色)

車両の車速パルス信号に接続

(車速パルス信号端子の接続方法へ)(→ P.37)

バックカメラ用外部入力端子(4P)

バックカメラと接続



USB端子(Type-A)

USB端子のある機器と接続

● 詳細な接続方法は、「システム接続例 (Apple CarPlayを使う)」(→ P.39)を参照してください。

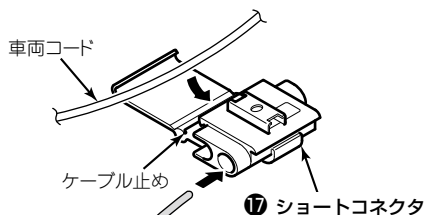
注意

- 車両信号の取り出しには必ず付属の⑦ショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災や感電の原因となります。
- 接続コードを①本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源／アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ⑩、⑫フィルムアンテナは、本製品に同梱のものを使用してください。同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する恐れがあります。

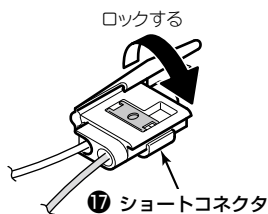
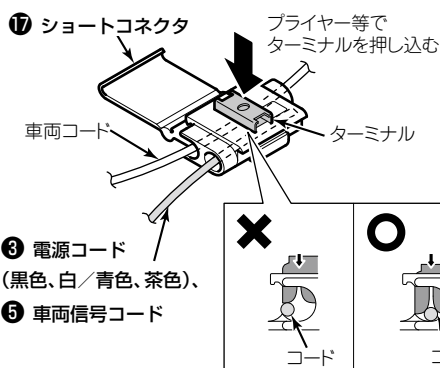
アドバイス

- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店やカーディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにお問い合わせください。
- ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリプスの Web サイト内「お客様サポート」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)をご確認ください。

ショートコネクタの使用方法



- ③ 電源コード (黒色、白／青色、茶色)、
⑤ 車両信号コード



- ① ③電源コード (黒色、白／青色、茶色)、
⑤車両信号コードおよび車両コードを
⑪ショートコネクタに差し込む。
- ② 車両コードをケーブル止めでロックする。

- ③ プライヤー等でターミナルを押し込む。

- ④ ⑪ショートコネクタのフタを閉じ、コードをロックする。

⚠ 注意

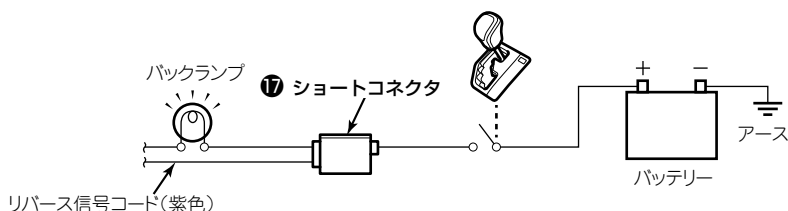
- ⑪ショートコネクタは「09 接続のしかた」で指定の用途以外には使用しないでください。接触不良による誤動作の原因となります。

🔧 アドバイス

- コードをロックした後、⑪ショートコネクタに絶縁テープを巻き付けてください。
- 絶縁テープを巻き付けた⑪ショートコネクタは、絶縁テープを使用し、他のコードと束ねてください。

リバース信号端子の接続方法（紫色）

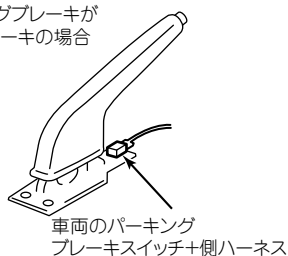
- 車両の後退を検知するために接続します。
- 車両のバックランプハーネス等（シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス）に接続してください。
- シフトレバーを「R」にした時に6 V以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。
- リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のズレが発生する恐れがあります。



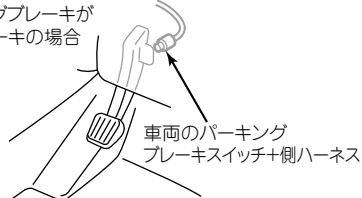
パーキングブレーキ信号端子の接続方法（緑色）

- 車両の停車状態を検知するために接続します。
- 車両のパーキングブレーキスイッチの+側ハーネスに接続してください。

例1) パーキングブレーキが
ハンドブレーキの場合

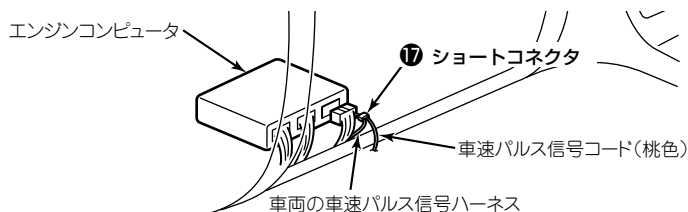


例2) パーキングブレーキが
フットブレーキの場合



車速パルス信号端子の接続方法（桃色）

- 車両の走行を検知するために接続します。
- 車両の車速パルス信号ハーネスに接続してください。
- 車速パルス信号を接続しないと測位精度が大幅に低下します。



⚠ 注意

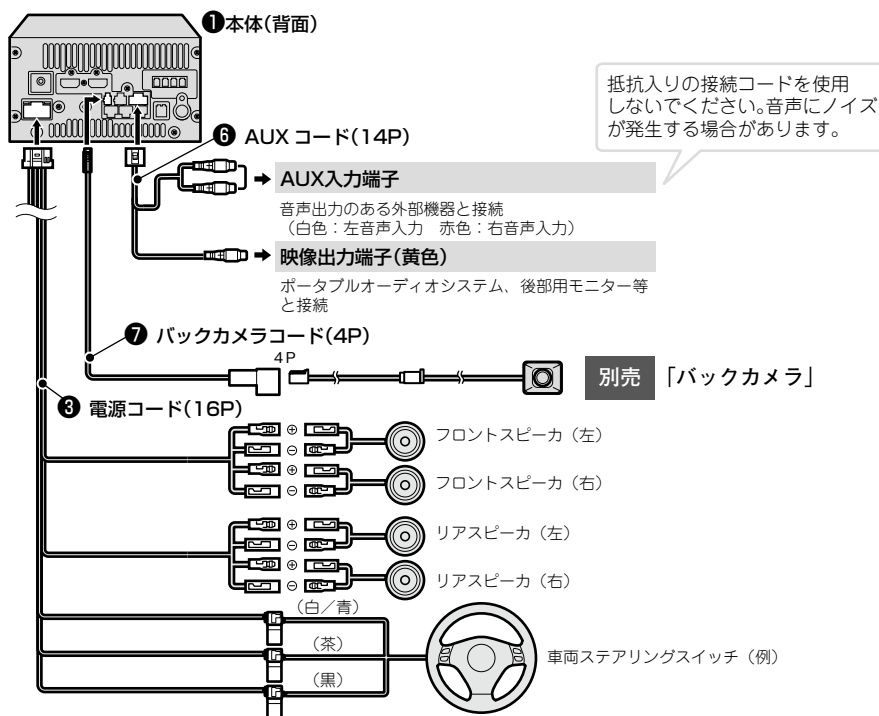
- 接続する機器の取付説明書をよく確認し、取り付けおよび配線をおこなってからメインユニットに接続してください。
- 使用しているコードは必ずコネクタにカバーやキャップをかぶせて保護してください。
- スマートフォン使用時は以下に注意してください。
 - ・ スマートフォンを取り外す際、コードを引っ張らない
 - ・ スマートフォンが運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう市販のホルダー等で固定する
 - ・ スマートフォンを車内の温度が高くなる場所に放置しない
- iPhone 使用時は以下に注意してください。
 - ・ iPhone とメインユニットは、必ず付属の① USB コードで接続する
 - ・ iPhone とメインユニットを接続する際、iPhone の電源を入れた状態でおこなう



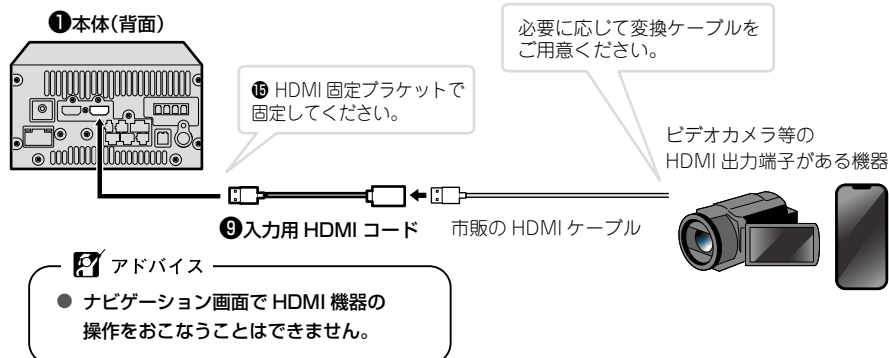
アドバイス

- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。
詳しくは、お買い上げの販売店やカーディーラーにお問い合わせください。
接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプスホームページの「お客様サポート」
(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>) をご確認ください。

システム接続例



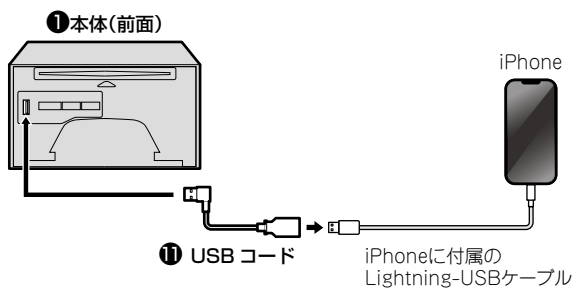
システム接続例（HDMI 入力端子を使う）

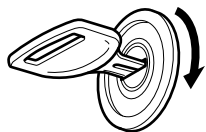


システム接続例（HDMI 出力端子を使う）



システム接続例（Apple CarPlay を使う）

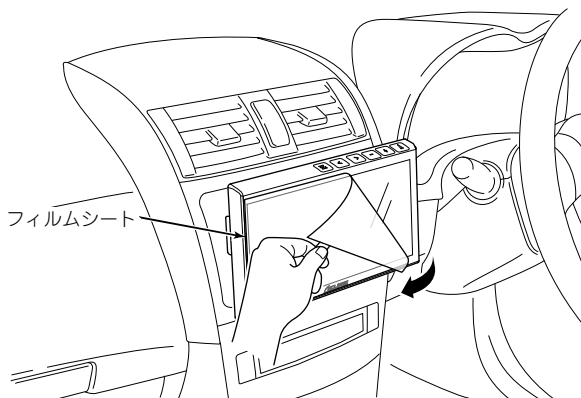


1 車両のエンジンをかけ、メインユニットを起動する**アドバイス**

- メインユニットが起動するまで、ACC OFF やメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 初期設定をする

本機や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定をおこなってください。

3 ディスプレイのフィルムシートをはがす

4 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

パーキングブレーキがかかっている事を確認してから作業をおこなってください。

NAVIメニューから確認する場合



- ① ディスプレイ上の  パネルスイッチ（現在地）を押す。



- ②  をタッチする。

次ページへ

オーディオメニューから確認する場合



- ①  SWITCH を押す。

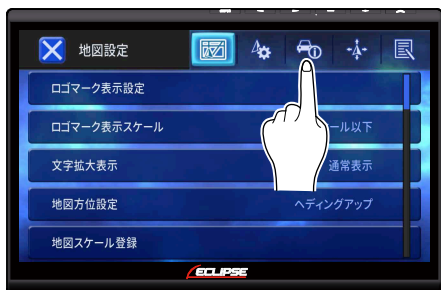
次ページへ

取り付け後の設定／作動確認

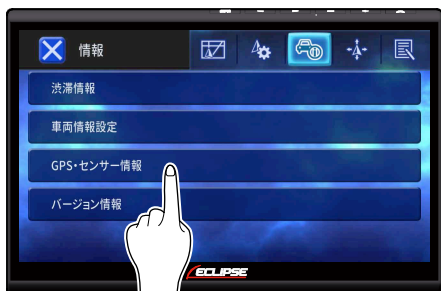
前ページから



③ ナビ設定 をタッチする。

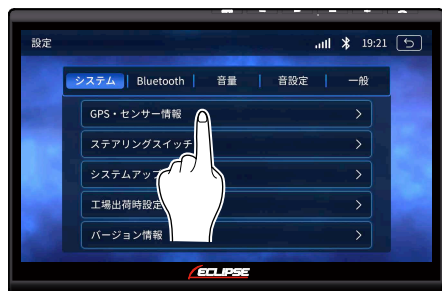


④ をタッチする。



⑤ GPS・センサー情報 をタッチする。

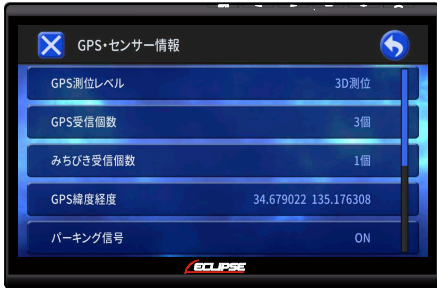
前ページから



② GPS・センサー情報 をタッチする。

5 それぞれの接続状態を確認する

NAVIメニューから確認する場合



オーディオメニューから確認する場合



● GPS 測位レベル

しばらく経っても GPS 測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPS アンテナの接続状態を確認してください。

● バルス回数

GPS・センサー情報画面で走行すると車速パルス信号の状態を確認することができます。

走行中、パルス回数表示が「0回」から変わらないときは、車速パルス信号の接続状態を確認してください。

● パーキング信号

パーキングブレーキがかかっている場合、表示が“ON”に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が“OFF”に変わります。

表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。

● リバース信号

バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が“OFF”に、バックギヤにシフトしている場合、表示が“ON”に変わります。

表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。

- Apple CarPlay works with iPhone 15 Pro Max, iPhone 15 Pro, iPhone 15 Plus, iPhone 15, iPhone 14 Pro Max, iPhone 14 Pro, iPhone 14 Plus, iPhone 14, iPhone 13 Pro Max, iPhone 13 Pro, iPhone 13, iPhone 13 mini, iPhone 12 Pro Max, iPhone 12 Pro, iPhone 12, iPhone 12 mini, iPhone 11 Pro Max, iPhone 11 Pro, iPhone 11, iPhone XS Max, iPhone XS, iPhone XR, iPhone X, iPhone 8, iPhone 8 Plus, iPhone 7, iPhone 7 Plus, iPhone SE 3rd generation, iPhone SE 2nd generation, iPhone SE, iPhone 6s, iPhone 6s Plus, iPhone 6, iPhone 6 Plus, iPhone 5s, iPhone 5, iPhone 5c.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.
- Apple, Apple CarPlay, and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.



- その他記載されている会社名・商品名等は、各社の商標および登録商標です。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、

お買い求めの販売店または株式会社デンソーテン「お客様相談窓口」までお願い致します。

株式会社デンソーテン「お客様相談窓口」

通話料
無料

0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前 9：30 ～午後 5：30（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

お客様サポートサービスのご案内

製品情報や各種適合情報をご確認いただけます。

<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>



取付説明書（PDF 版）のご案内

取付説明書はホームページからもご確認いただけます。

■ 取付説明書（PDF 版）

本書を PDF 形式で閲覧・ダウンロードすることができます。

<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/manual/>



株式会社デンソーソリューション

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町 1-1

LSX6090003
2410